

令和元年度 水稻害虫トラップ情報（8月中旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、現在第2世代が誘殺されており、誘殺数は青森では平年より多く、木造・鶴田ではほぼ平年並に、県南地域では十和田は平年並、八戸は平年よりやや多く推移している。

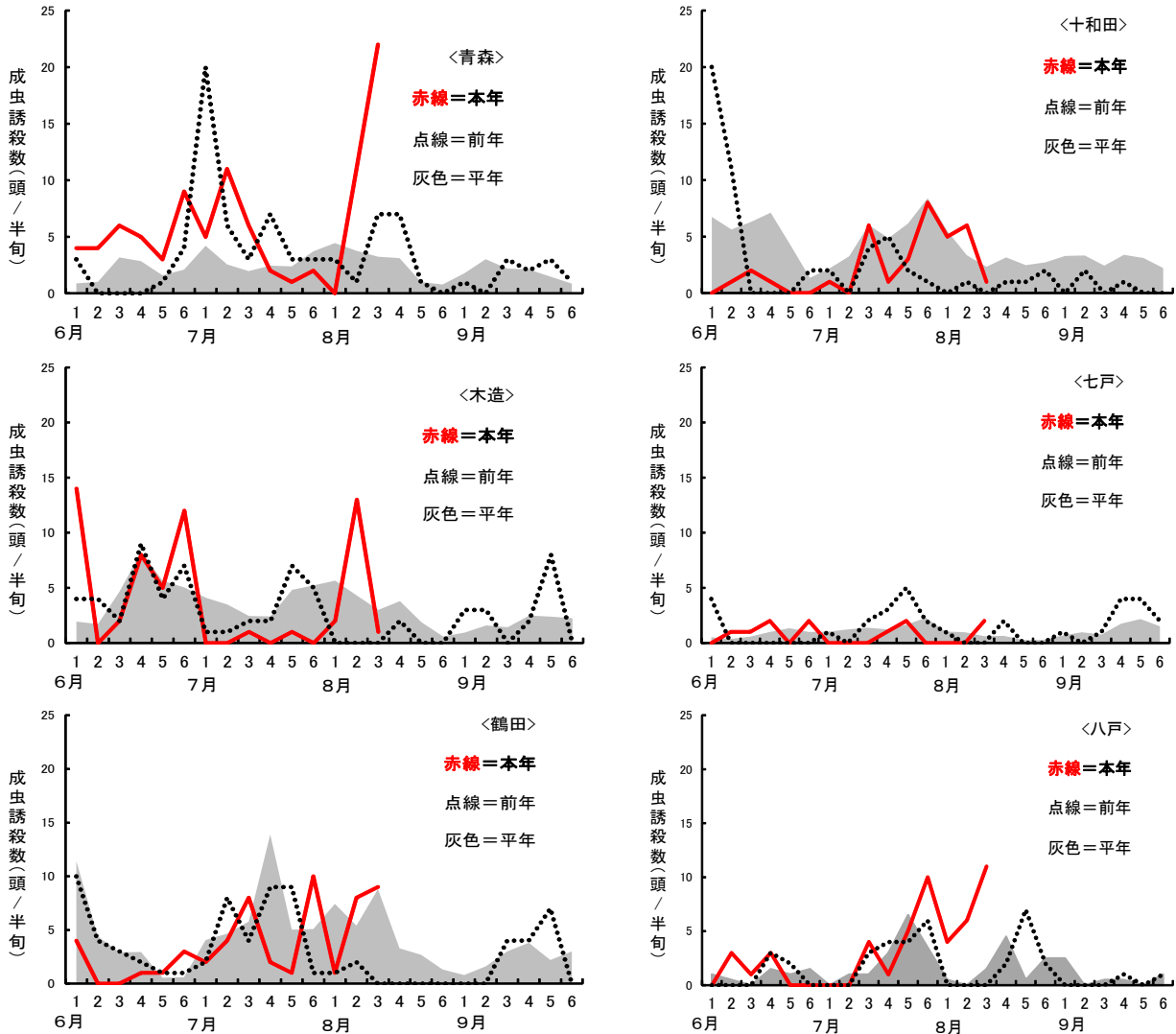


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森9年、木造7年、鶴田5年、十和田10年、七戸10年、八戸3年の平均値

(2) 予察灯での第2世代の誘殺数は、青森はほぼ平年並、木造は7月後半にまとまった誘殺があり、平年より多かった。八戸は7月前半の誘殺が少なかったが、その後平年並となった。

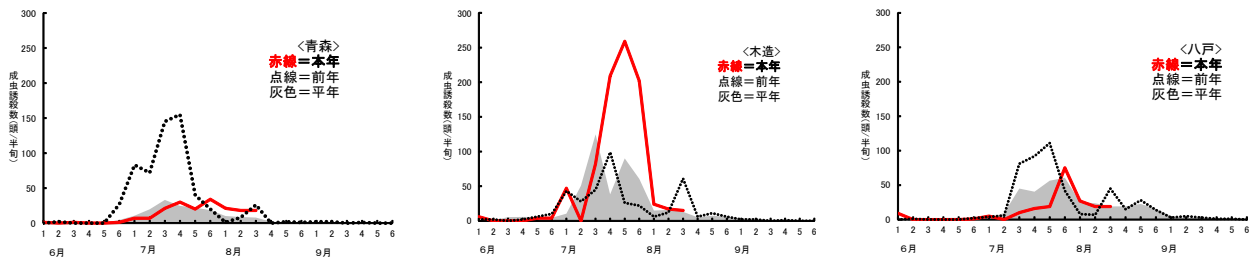


図2 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

2 アカスジカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、青森の6月の誘殺数が前年より多かったが、その他では木造で8月3半旬に4頭の誘殺が認められたのみで、他地点での誘殺はほとんど認められなかった。

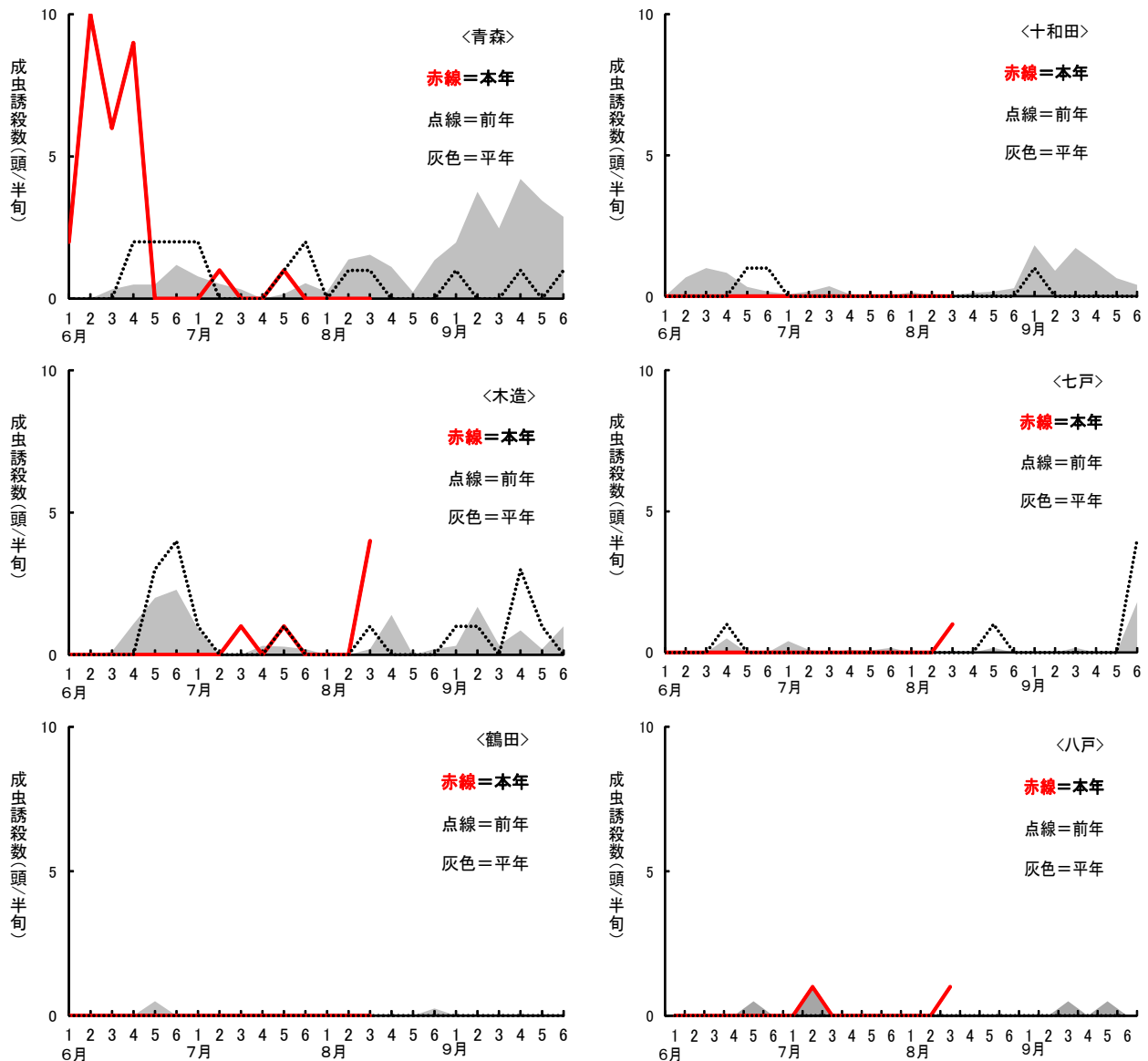


図3 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森6年、木造5年、鶴田4年、十和田6年、七戸6年、八戸3年の平均

(2) 予察灯では、第2世代と考えられる誘殺の盛期は、津軽地域ではほぼ平年並で、誘殺数は平年よりやや少なかった。八戸では8月上旬に2頭誘殺されたのみであった。

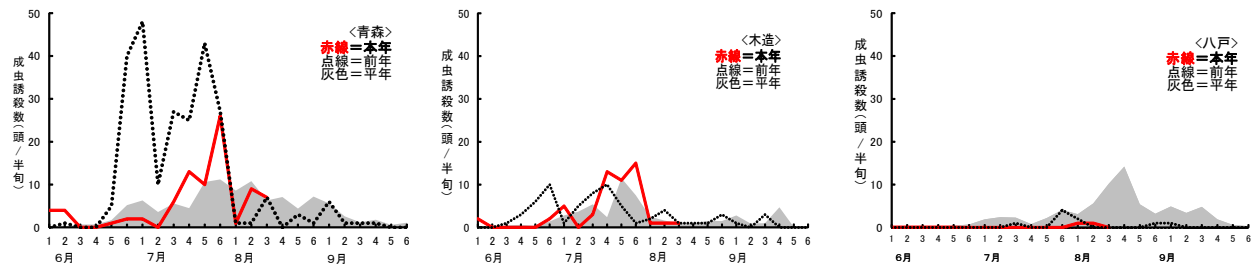


図4 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる第2世代の誘殺時期は7月下旬～8月上旬であった。誘殺数は青森、十和田は平年より少なく、七戸は平年並、木造、鶴田、八戸は平年より多く、特に八戸の誘殺数が突出している。

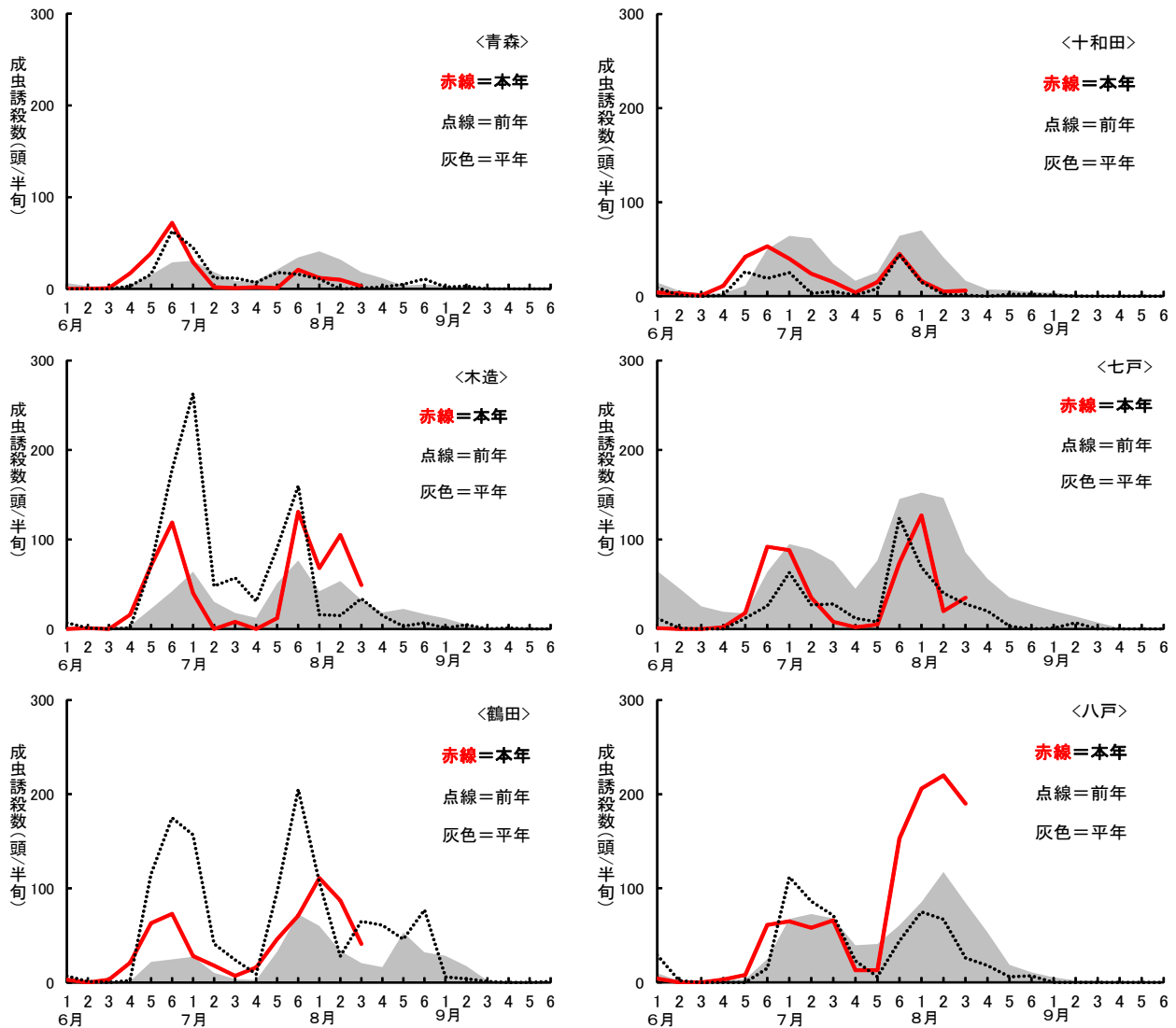


図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

(2) 予察灯での第2世代の誘殺は、性フェロモントラップと同様に7月下旬～8月上旬にみられ、誘殺数は青森は平年並、木造と八戸は平年より多く推移してる。

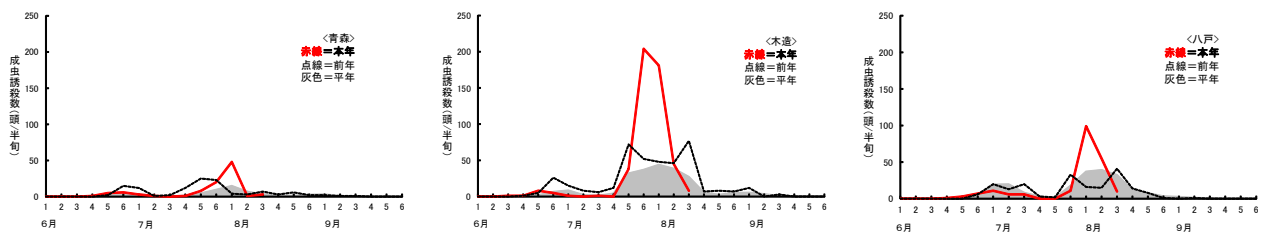


図6 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第2問屋町4-11-6

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900

担当：総括主幹 市田忠夫